

山草連盟の主な行事

(平成24年度)

- | | | |
|-----|------------|-----------------------------|
| 4月 | 春の展示会 | 中央公民館 |
| 5月 | 春の自然観察研修 | 那須・塩原方面
(花之江の郷・黒磯山野草展示会) |
| 6月 | 苔玉・寄植え講習会 | 舟石川コミセン |
| 7月 | 夏の展示会 | 舟石川コミセン |
| 7月 | 自然観察一泊研修 | 新潟県アルプの里 |
| 9月 | 研修会 | 原電見学・海浜公園 |
| 10月 | 芋煮会・山野草交換会 | 舟石川コミセン |
| 11月 | 東海村文化祭に参加 | 総合体育館 |
| 1月 | 親睦会 | 舟石川コミセン |

当連盟では、山野草の栽培、管理の仕方の研磨、時節の山野草自生地見学研修などの活動をしています。

“入会を希望される方は、ご連絡ください”

《連絡先》 山草連盟理事長 山崎 国光

TEL 282-2040 携帯 090-2317-9057

平成24年度東海村文化祭

山野草展示会



ハゼノキ(うるし科)ギボウシ(ゆり科)
ノコンギク(きく科)
ヤマランキヨウ(ゆり科)

期 日 11月2日(金) ~ 11月4日(日)

場 所 東海村総合体育館

主 催 東海村文化祭実行委員会

東海村 山草連盟



病害虫は

対策

- 置き場所や水やりに注意する
- その植物に適した環境で育てる
- 早く見つけて、早く退治する

草盆栽や草を使った苔玉は、木もの盆栽に比べると害虫や病気の被害は少ないといわれています。病害虫から守るためには、普段の置き場所や水やりなどをチェックすることが大切です。部屋に長く置いているものは外に出します。風通しが悪いようなら鉢と鉢の間隔をあけます。水のやりすぎで株が弱ると害虫や病気にかかりやすいので注意しましょう。日頃の管理に問題がなければ、あまり神経質になることはありません。

薬剤の散布

- 害虫には殺虫剤を、病気には殺菌剤を散布する
- 葉の裏側にもまんべんなくかける

害虫や病気の種類によって使用する薬剤が違うので、薬剤の種類や使い方は園芸店の人に相談しましょう。また、説明書をよく読んで量や濃度、服装などを守り、薬剤の散布は風の無い日の朝か夕方に行います。

顆粒剤の散布

専用のスプーンで、葉や枝にふれないように土の上にはらまきます。薬剤を直に手でさわるのは避けます。



病害虫の予防

葉がふれあわない程度に鉢と鉢(苔玉)の間をあけ、ときどき鉢を回転させて全体に日が当たるようにします。



スプレー剤の散布

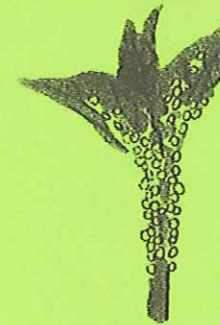
室内のものは外に出し、植物から30cmくらい離れた位置から、葉の表や裏にいいいに散布します。薬剤を水で薄めて噴霧器で散布するものも同様に行います。ペットや洗濯ものなどにかからないようにし、ベランダでは大きなビニールの中に鉢を入れ、その中で散布すると周りに薬剤が飛び散りません。



病害虫のチェック方法

虫がついていれば害虫のしわざと分かりますが、葉が縮れたり、黄色くなったりするのは植物の自然の生理現象の場合もあります。見分けづらいので、こんな症状が出ていたら、まずはお店の人に相談してみましょう。

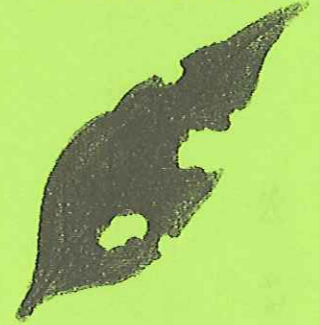
アブラムシ
葉が縮れたようになる。
→ ティッシュの上からつぶし取る



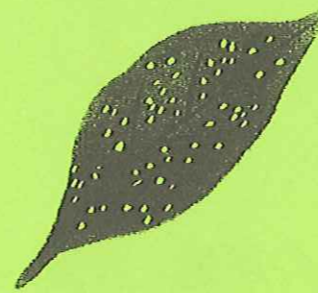
ナメクジ
葉に光った白い粘液がある。
→ 誘引剤で捕まえる



ケムシ
葉が欠けていたり、穴があいている。
→ 割り箸で取り去る



カイガラムシ
葉や枝に白い虫や塊がついている。
→ 歯ブラシでこすり取る



うどんこ病
葉に白い粉がかかったようになる。
→ 枯れ葉を除いて風通しをよくする



斑点病
葉に赤や茶色などのまだらな斑点ができる。
→ 病気の葉は切り捨てる

